

(蒲郡市)

市町村の 基本情報	学校数	小学校 13校、中学校 7校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員		0人
		地域学校協働活動推進員		25人
	CS及び地域学校協働本部設置状況	統括コーディネーター		5人
		地域コーディネーター		0人
	CS及び地域学校協働本部設置状況	CSを導入している学校数	小 13校	中 7校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小 13校	中 7校	



5年家庭科授業（煎茶教室）

(活動の実際) ～西浦小学校協働本部～

(方針)

地域の子供は地域全体で育てるという理念のもと、学校と地域のつなぎ役として、双方がよい関係を構築できるように活動をサポート・調整する。また、その活動を通じて子供と関わる地域の人たちが、やりがいを実感できるようにする。

(活動内容)

- ・ 学校サポーターの派遣 5年目《1年給食配膳、3年はるかひまわり絆プロジェクト、5年家庭科授業（煎茶、裁縫）、全校さつまいも苗植え付け・収穫、1年5年地域麦畑（麦まき、麦ふみ、麦刈り）、5年プログラミング講座、全校プール監視、2年5年油菓子作り、3年魚さばき体験、5年地域のお年寄りとの交流会、全校焼き芋の会等》
- ・ 放課後子ども教室の実施 4年目《ドッジボール、宿題&ボードゲーム、作文教室、こどもの輪ワークショップ、バランスボール、体幹トレーニング&パンポン、わくわくクリスマス工作、さつまいもスイーツ、飾り巻き寿司を作ろう》 ※ は公民館との連携を図っている。

(活動で意識していること)

- ・ 学校の地域学校協働活動担当者（教頭）との連携を密に、活動の内容を共通理解し、サポーターとの交渉を図っている。
- ・ 各活動の様子をたよりにして地域の回覧板で紹介し、地域の方々への活動の周知を図っている。
- ・ 公民館との連携を図るために、学校・推進員・公民館・生涯学習課で定期的に話し合いの場をもち、活動の情報交換をしている。

(◎成果と●課題)

- ◎授業づくりの段階から推進員に相談して取り組む教師の姿が見られるようになった。
- ◎地域の人材を活用することで、子供たちは様々な学びの機会を得るとともに、地域のサポーターとの交流が深まった。
- 活動について広く知ってもらうための周知方法の検討や長期的に活動を継続するためのサポーター等の人材発掘等。

(関係者の声)

- ・ 学校内で教員が担っていた様々な活動を地域の方々や協働本部にサポートしていただいたことにより、教員の負担軽減につながった。(教員)
- ・ 子供たちと一緒に学びの場で活動したことが楽しく、また元気な姿を見ると、こちらまで活力が湧いてきた。(サポーター)